



デマンド交通との併用 で見直しを

伊藤美枝子 議員

問 交通空白地域の交通弱者対策は喫緊の課題。循環バスの拡充とデマンド方式との併用が望ましい。三芳町では昨年9月から試行運転を経て実施している。昨年の調査で見えた実態は。

答 高齢者を中心とする利用者の買い物・通院などの外出目的に合致した運行方式を考えながら進めたい。

問 市内循環バス見直しの今後の計画は。

答 地域公共交通検討組織を立ち上げ、平成28年1月をめどに実証運行を行う。定時定路線型とデマンド型を組み合わ

せた運行方式、小型車両の検討など市の実情に即した事業を目指す。

避難生活用品の分散備蓄で防災教育を

問 避難所となる学校の余裕教室を活用し、資機材や避難生活用品の分散備蓄を行っている自治体がある。東日本大震災で奇跡的な避難をした釜石市の小中学生は、日頃からの防災教育が活きた結果となった。防

災資機材を活用し防災教育を行っている。

答 学校の余裕教室を活用し、分散備蓄を行う。児童・生徒が災害用備品を目にし、使い方を知ることが重要。資機材を配備し、有効な活用で意識を高めるよう指導する。

問 鶴ヶ舞二丁目の大規模店舗跡地に新店舗が出店予定であるが、付近の交通安全対策は。

答 通学路もあることから、搬入車両や買い物客の車の出入りが計画されている箇所に対し、十分な安全対策を行うように指導している。また、今後も交通状況を見ながら、安全のための対応を行う。



新店舗出店に伴う 積極的な交通安全対策を

有山 茂 議員

農業政策

問 今後の市の農業政策は。

答 「生分解性マルチフィルム」購入への補助を実施し、環境負荷の軽減と農作業の簡略化につなげる。また、高齢化や担い手不足解決のため「入農地プラン」を広げ、さらに「農地台帳システム」の導入により農地の集約化・遊休農地の発生防止に結びつけていく。

雨水対策

問 関越自動車道西側県道周辺の雨水対策は。

答 雨水調整池を整備するため、この地区の浸水被害が大きく軽減されると考えられる。また、県では、雨水対策がされていない住宅に浸透枡を設置する予定であり、今後とも県と連携して浸水被害の軽減に努めていく。



地域農業の未来を描く

民間の福祉力を もっと活用しては

鈴木啓太郎 議員

問 介護ボランティアをはじめ、市内には多彩な民間の福祉力が生まれているが、これらを総合的にネットワークすべきでは。

答 高齢者人口は団塊世代が75歳以上になる2025年にピークを迎える。ボランティアな

**社会福祉法人の
社会貢献活動**

問 彩の国安心セーフティネット事業が、社会福祉法人の社会貢献活動として始まっているが、市として連携すべきでは。

答 同事業は生活困窮者からの総合的な相談を受け、必要に応じて経済的支援を行うもので、同事業も含め、さまざまな支援機関との連携、新た

広く市民に周知する

問 具体的にはどのような活用が考えられるのか。

答 失業後や虐待DV被害などによる避難直後の緊急的な相談の場合など、民間による機動的な事業が有効な場合がある。今後市民への周知を行い、庁内組織間で連携を図る。



LGBT（性的少数者） への理解を

田村法子 議員

問 市内の現状は。

答 性的少数者に対して実態把握はしていないが、調査では国内人口の約5%と推定され、そのうち8割がトランスジェンダーと推定される。

問 市はどんな配慮をしているか。

答 一定要件に該当する

場合、戸籍上の性別記載を変更している。

貧困の連鎖を断ち切るために

問 子どもの情報を一番得やすいのは教員である。その情報を福祉につなげて、子どもを守れないか。

**さらなる市民力で
地域力を**

問 保育所廃止問題では、その経緯が市民に十分伝わらず、限りなくそこに近いと思われる情報が飛び交った。市民力・



新しい保育園が4月1日オープン

※トランスジェンダー…性同一性障害のひとつ。身体の性と心の性が一致しないが、外科的手術などは望まない人。



手話による窓口での会話

問 小中学校での手話体験学習の実施を。

答 現在、総合的な学習の時間で手話を学んだり、手話でのあいさつや歌を歌ったりするなど、体験活動にも取り組んでいる。今後も障がいのある方とともに学ぶ機会を増やしていく。

問 手話通訳者の増員を。

答 現在、正規職員の手話通訳士が1人いるが、資格を持つている者の一般事務職採用について検討する。

問 要約筆記養成講習会の実施を。

答 平成20年度から3年



聴覚障がいの方の環境 整備

岸川彌生 議員

問 近隣市町と合同で講習会を開催したが、現在開催していない状況である。今後、県で実施している講習会を案内するようにしていく。

さらなる機能発揮 を

問 シルバー人材センターを派遣事業所として高齢者の就労拡大を。

答 すぐに派遣事業に切り替えるのは困難であるが、介護予防事業、生活



お知らせ

ふじみ野市議会だよりがスマートフォン、タブレットで読めるようになりました。App StoreやGoogle playから、「広報紙」というアプリをインストールしてご利用いただけます。

【注意】紙面の閲覧中に広告が表示されることがあります。アプリ、広報紙のダウンロードにはデータ通信料が発生します。